

# 想定地震

群馬県では、活断層の分布と活動度及び地質の大構造に着目して、県内に3つの想定震度を設定しています。このうち明和町に震源が最も近い「群馬県南東部地震（マグニチュード7.0）」を想定しました。



出典:群馬県地震被害想定調査(平成10年3月)

## 震度6強 震度6弱

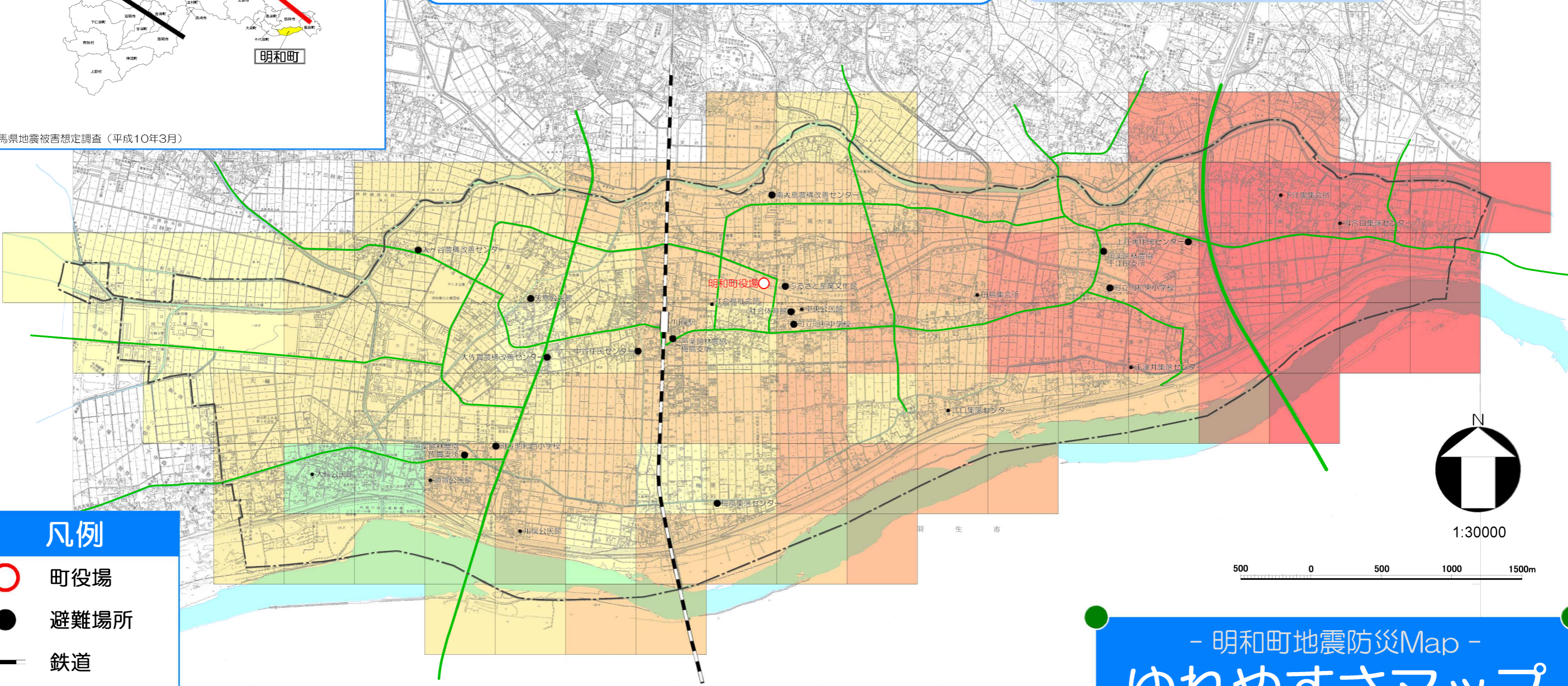
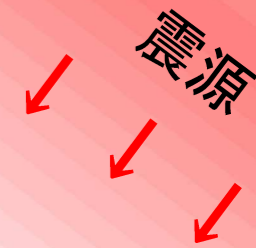
震度階級



人間	立っていることができず、はわないと動くことができない。	立っていることが困難になる。
屋内の状況	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。
屋外の状況	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。

出典:気象庁震度階級関連解説表

現在、群馬県南東部で発生する地震が最も大きな被害を与えるとされており。「ゆれやすさマップ」は、群馬県南東部で発生したマグニチュード7.0の地震を想定した場合の震度の分布を示したものです。



## 凡例

- 町役場
- 避難場所
- 鉄道
- 主要道路
- - - 市町村界

# - 明和町地震防災Map - ゆれやすさマップ

※500m×500mメッシュ